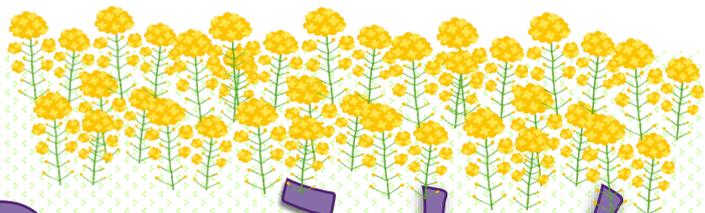


京都市北図書館だより



# むらさきのつつしん

テーマ **なりたい自分** ~踏み出す勇気を君に~

第26号

2024年2月発行

春が近づくにつれて進級や卒業後の進路など、これから先の“なりたい自分”について考え悩むことが増えてくるかと思えます。今回はそんな時に手に取ってもらいたい本を集めました。悩みながらも進む主人公の姿や先人たちの言葉から、前へ一歩踏み出すきっかけをつかんでもらえたら、うれしいです。

## 『和菓子のアン』

坂木 司／著  
(光文社 2010)



進路を決められないままニートになってしまった杏子<sup>きょうこ</sup>。やりたいことも特技もなく悩んでいた時、アルバイト募集の広告を見て、直感的に働きはじめた。デパ地下の和菓子屋で和菓子を作る日々は、食べることが大好きな彼女には意外と向いている。憧れの上司や同僚、訳ありなお客さんたちと関わる中で、彼女は自分らしく生きていく方法を見つけられそうです。

## 13歳から分かる！

## 『7つの習慣』

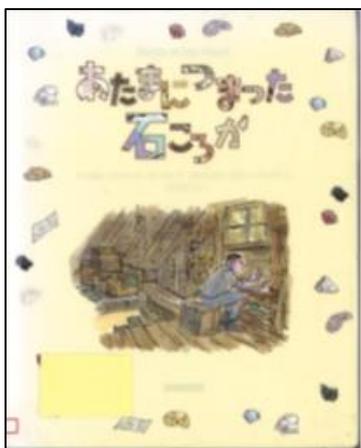
7つの習慣編集部／監修  
(日本図書センター 2020)



人生で成功するために必要なことって何でしょう？ 幸せになるにはどうしたらよいのでしょうか？『7つの習慣』は世界中でベストセラーとなっているビジネス書ですが、自分の考え方や話し方、人との付き合い方など、みなさんの毎日の悩みを解決するヒントもここにあります。いつかあなたの夢をかなえるために…

## 『あたまにつまった石ころが』

キャロル・オーティス・ハースト／文  
ジェイムズ・スティーブンソン／絵  
(光村教育図書 2002)



「あいつは、ポケットにもあたまのなかにも石ころがつまってるのさ」石が大好きで仕方がないわたしの父は周りから馬鹿にされていました。それでも父はひたすら石を集め、石について調べ、学び続けていました。信念を持って継続し未来を切り開いていった父のおはなしです。

## 『心をととのえるスヌーピー』

悩みが消えていく禅の言葉

チャールズ・M.シュルツ／著 谷川 俊太郎/訳  
柘野 俊明／監修 (光文社 2021)



スヌーピーと禅ってちょっと不思議な組み合わせだなと思い、この本を手に取りました。ピーナッツの漫画と禅語がうまく組み合わせられていて、自分のすきま時間に読むのにピッタリです。禅語は難しいのではという方も大丈夫。解説がついています。この春、新しいジャンルの本を読みたいなどお考えの方、お薦めです。

## 『やりたいことが見つからない君へ』

坪田 信貴／著  
(小学館 2021)



将来のことを考える時のきっかけ作りにぴったり！やりたいことがなくなつて、これから見つけていけばいい。とりあえずやってみる、一步踏み出してみる。そうすることで、知らなかった自分や可能性を知ることができる。そんな一冊です。

## 『みんなの論語塾』

安岡 定子／著  
(講談社 2010)

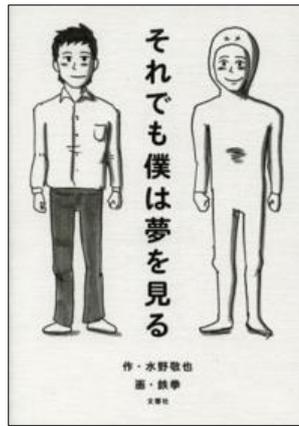


『論語』とは、孔子という、今から二千年ほど前に実在した中国の学者とその弟子たちのやりとりをまとめたものです。難しそうだし古臭そうだと思うかもしれませんが、『論語』には今を生きる私たちも共感してしまうような言葉がたくさんあります。なりたい自分になるために、悩みや迷いが生じた時、自分の背中を押してくれる言葉を探して、『論語』を読んでみるのはいかがでしょうか。

## 『それでも僕は夢を見る』

水野 敬也／作 鉄拳／画

(文響社 2014.3)



夢を見ることはとても素敵なこと。夢に向かってつき進む、夢があるから頑張れる。「僕」のそばにはいつも「夢」がいた。けれども夢はかなわなかった。最初から夢を持たなければ挫折感を味わわずにすんだじゃないか？力強い文章と、鉄拳のイラストが映画を観ているような感覚で読める。読後はタイトルをつぶやかずにはいられない。

## 『あしたから出版社』

島田 潤一郎／著

(筑摩書房 2022)



夢であった小説家になることを諦め、職探しの日々を過ごす中、ある出来事をきっかけに「大切な人たちのために一編の詩で本を作りたい」と思い立った著者。出版のため彼が始めたこと、それは「社員＝自分ひとりの出版社」を立ち上げることであった…。一見無理に思えることも、気持ち一つで変えられる・始められる。一步踏み出したいとき、手に取ってみてください。

## 生きチャレのおすすめ本



### 『麦本三歩の好きなもの』 住野 よる／著 幻冬舎 2021

この図書館で働いている麦本三歩が主人公の短編集です。読みやすく、「確かに!」と共感できる場面がたくさんあります。クスツと笑えて、心が温まる話ばかりなのでぜひ読んでみてください。とにかく三歩がかわいいです。(P.N P.Y)

### 『かがみの孤城』 辻村 深月／著 ポプラ社 2017

この作品は、7人の中学生達が かがみの中の不思議なお城でかぎを見つけ出すストーリーです。この作品は、おどろき、感動、おもしろさなどの沢山の感情を楽しめ、自分の心が大きく動かされ、周りの見方も変わり、子供から大人までの人が楽しめる作品です!ぜひ手に取ってみてください!!(P.N Y.C)



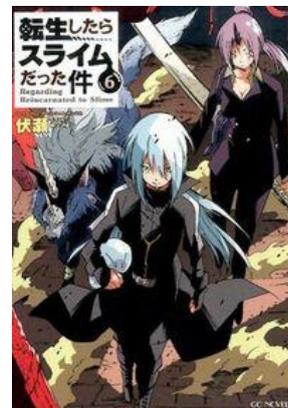
### 『知識ゼロでも楽しく読める!物理のしくみ』

川村 康文／監修 西東社 2019

この本はイラストなどをつかっていて分かりやすく、かんたんに、読めて 勉強の本だけど、勉強が にがてでも、分かりやすく学べます。話したくなることもあるので、おすすめです。(P.N K)

## 『転生したらスライムだった件 6』

伏瀬／著 みっつばー／イラスト マイクロマガジン社 2015  
本を読むのが苦手なやつは転スラシリーズを読んだほうがいい。  
ファンタジーが好きな人は必見やし、キャラ1人1人に個性がある。  
自分が6巻をオススメの理由は主人公の考えが大きく変わる話  
なので、オススメしています。国がどう変わっていくかを見るのもアリ  
ぜひ読んでください。(P.N ダイナマイト竹山)



## 『神話最強王図鑑』

健部 伸明／監修 なんば きび／イラスト 学研プラス 2021  
神話が好きの方は、オススメです。神が戦って生きのこった  
ものだけが決勝にいけるという本です。他にも最強王図鑑  
シリーズは、いっぱいあるのでぜひ、読んでみてください。(P.N K)

## 『ジム・ボタンの機関車大旅行』

ミハエル・エンデ／著 上田 真而子／訳 岩波書店 1986  
この本は、島国フクラム国にある日届いたなぞの小包。中には  
なんと赤んぼうが!その子は親友と町をでていくことになり…。  
この本はふりがながふってあり、漢字が苦手な人でも読みやすい。  
そして、意外な展開が続々とでてくる。ぜひこの本を読んでほしい。(P.N. K)



## 『時給三〇〇円の死神』

藤まる／著 双葉社 2017  
この本では、高校生の佐倉真司(主人公)が「死神」のアルバイトで  
「死者」の未練を晴らし、あの世へ見送るという仕事を始めます。  
佐倉の気持ちが、まるで自分が思っているかのように頭に入ってきて、  
佐倉の気持ちが死神の未練に感動し、涙が止まりませんでした。  
(P.N Y.K)

## 京都市北図書館

〒603-8214

京都市北区紫野雲林院町 44-1

TEL 075-492-8810

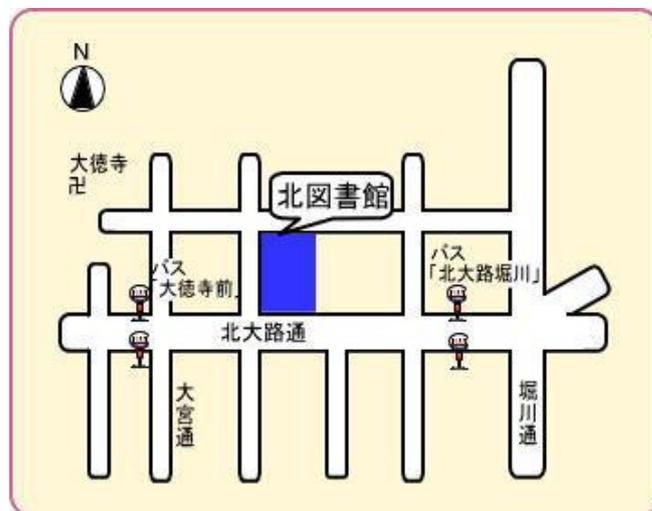
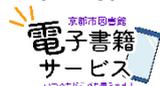
開館時間 平日 9:30~19:00

土日祝 9:30~17:00

休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

URL <http://www2.kyotocitylib.jp>

(公財)京都市生涯学習振興財団



★京都市図書館で本を借りるときは図書館カードが必要です。カードの発行には、住所、氏名を確認できるものが必要です。